

①

おう めい れい
王さまの命令

その2
作 KURASAWA

X X Δ Δ □ % □

□ ▽ Δ X X

7-2

X X Δ Δ !



□ ▽ Δ
X X O X X



② (①の裏)



<「かたぐるまして～」だって。やっぱりごろろんも いたね。>

<2かたぐるまだから、7って かいてあったんだね。>

「えーい！くるんどもめ、また あんなに なかよく してるぞ！！

カエルたちよ、2くるるん さらってまいれ！」

<2くるるんでしょ、カエルも2 ってことは…>

②



③ (②の裏)



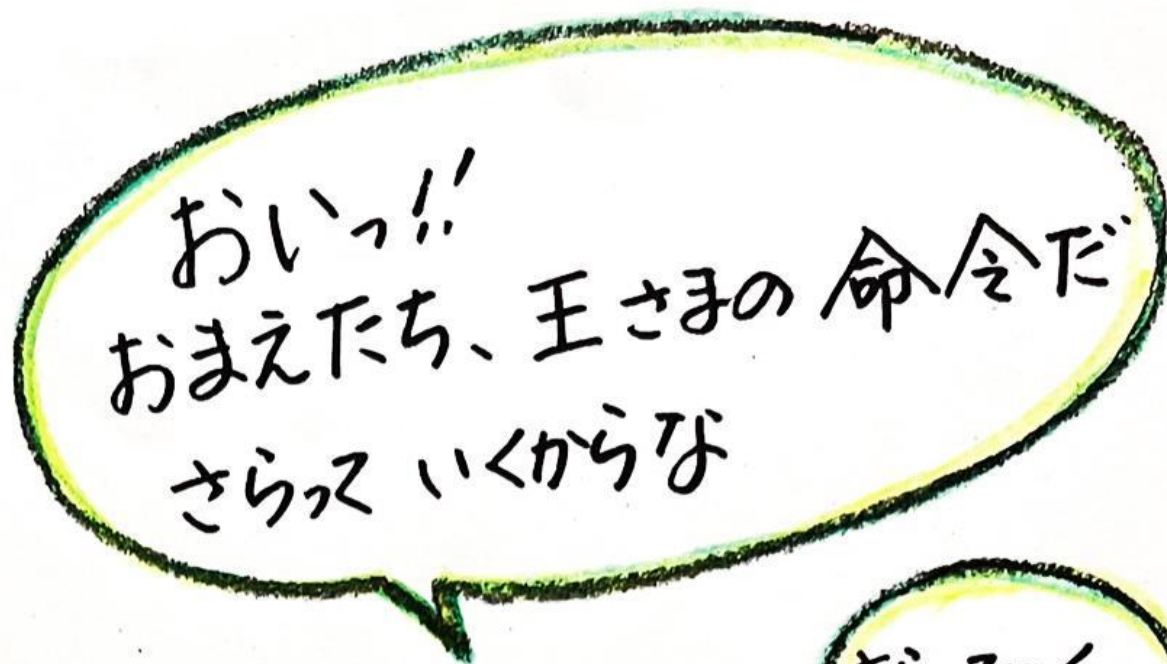
「おい！ おまえたち、王さまのめいれいだ。さらっていくからな。」

「わあっ！ かえるだ！」

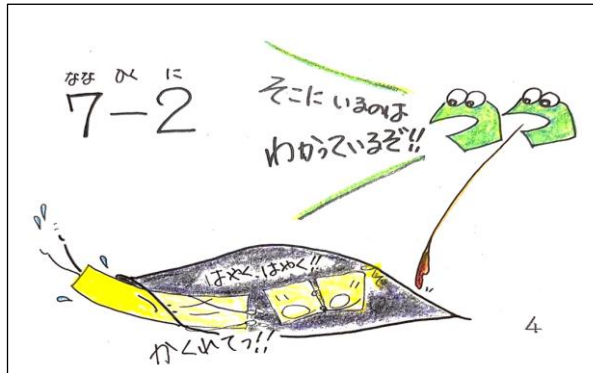
「かくれなきや。」

<かくれろって、まにあうのかなあ。>

③



④ (③の裏)



「かくれてっ！はやく はやく！」

「そこにいるのは わかっているぞ！」

< やっぱり まにあってない じゃん。 >

< やばいよ！ほら カエルのベロが またのびとる！ >

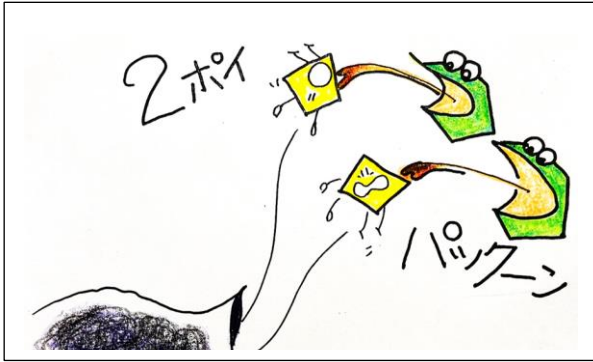
④

なな み に
7-2

そこにいるのは
わかっているぞ!!



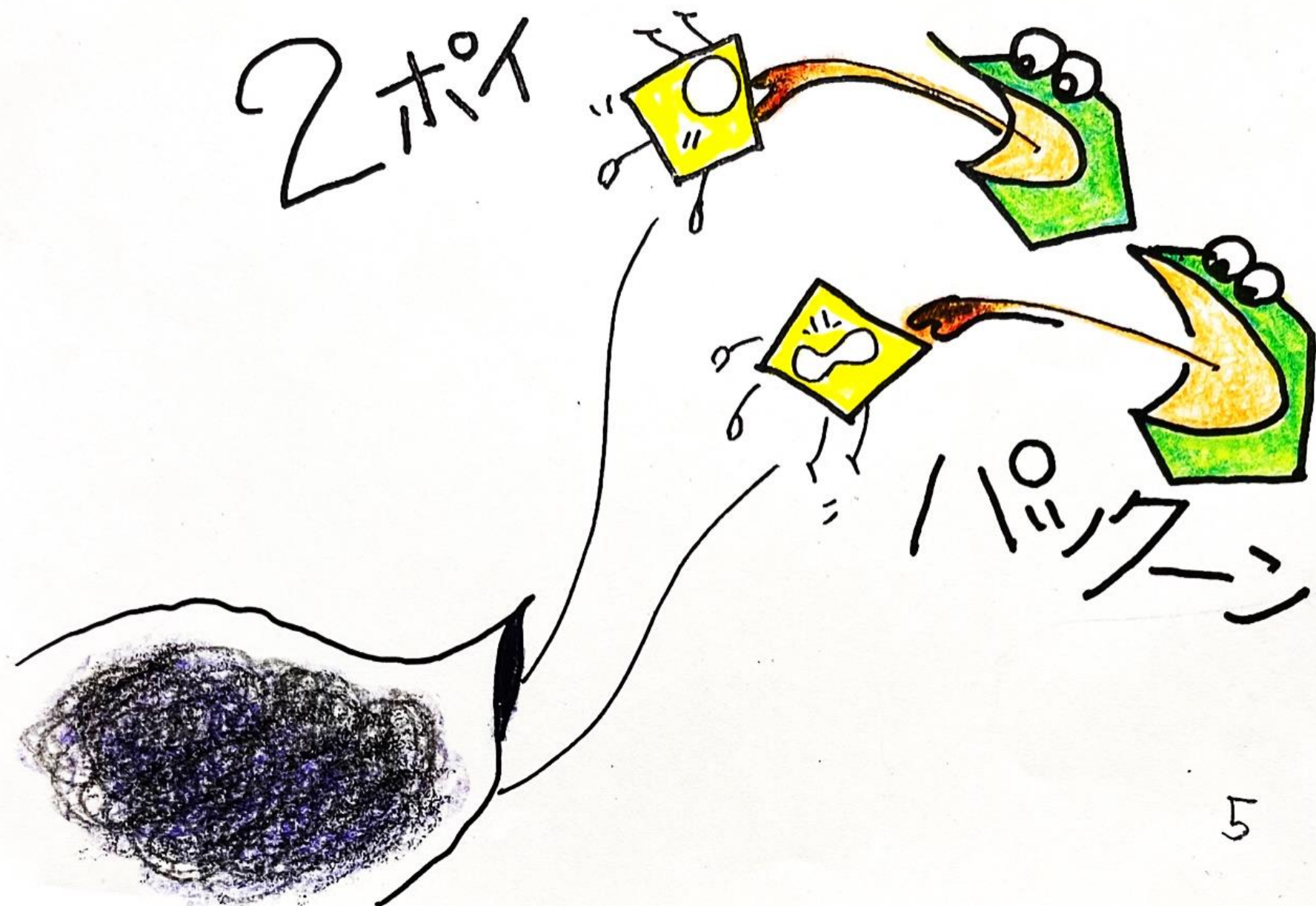
⑤ (④の裏)



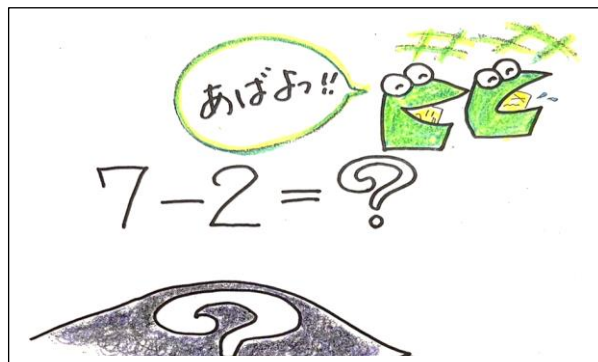
<あ～あ、やっぱり つかまえられちゃった。>

「2ポイ パックーン！」

⑤



⑥ (⑤の裏)



「あばよっ！」

<2くるるん、つれて いかれちゃったね。>

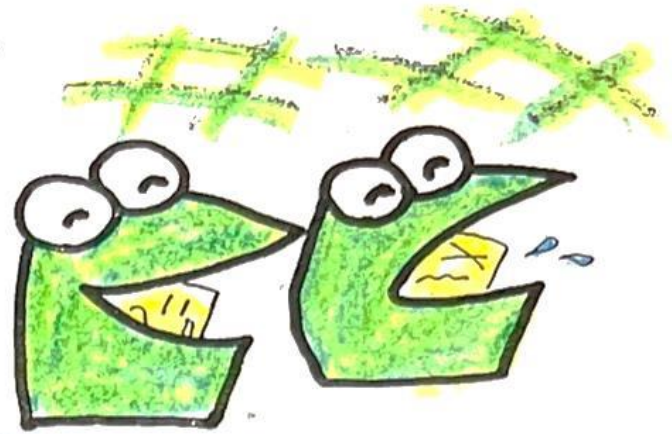
「のこって いるのは？」

<わかったあ。5だ！>

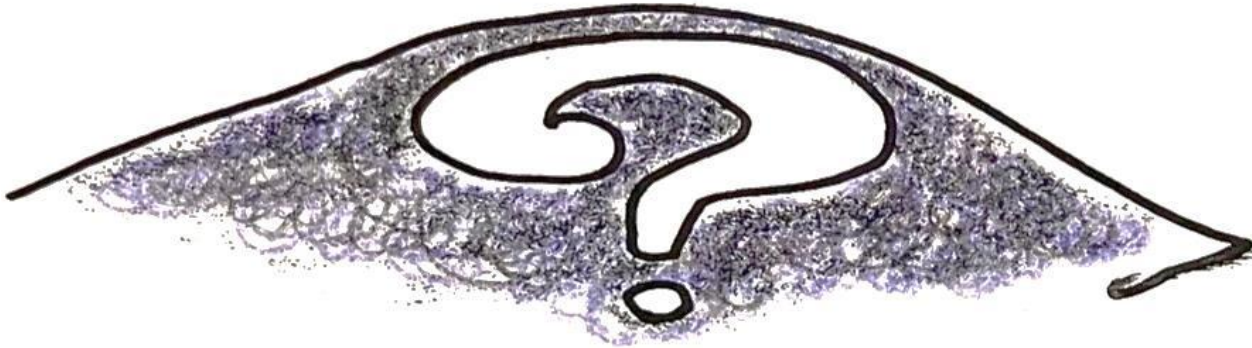
「どうして そう、おもうのかな？…だってえ？…」 *「だってえ？」は、子どもから考えや理由を引き出す言葉。

<だってね、7-2でしょ、2かたぐるまの 2くるるんが つかまったから、ごろろんが
のこってるんじゃないかなあ。>

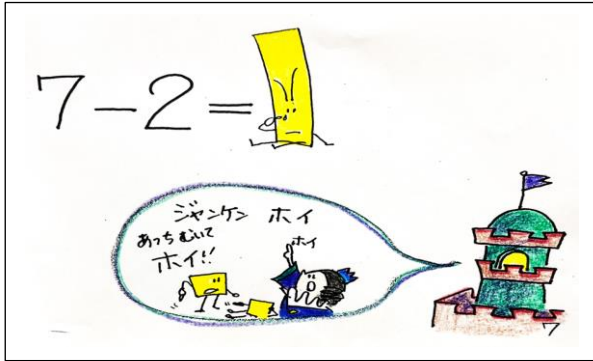
⑥



$$7 - 2 = ?$$



⑦ (⑥の裏)



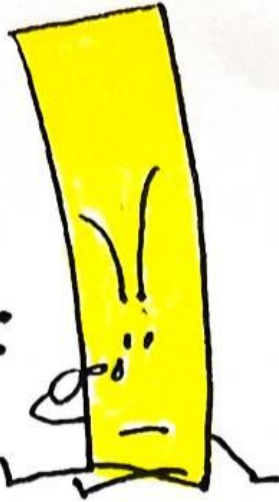
<やっぱり ごろろんだったね。>

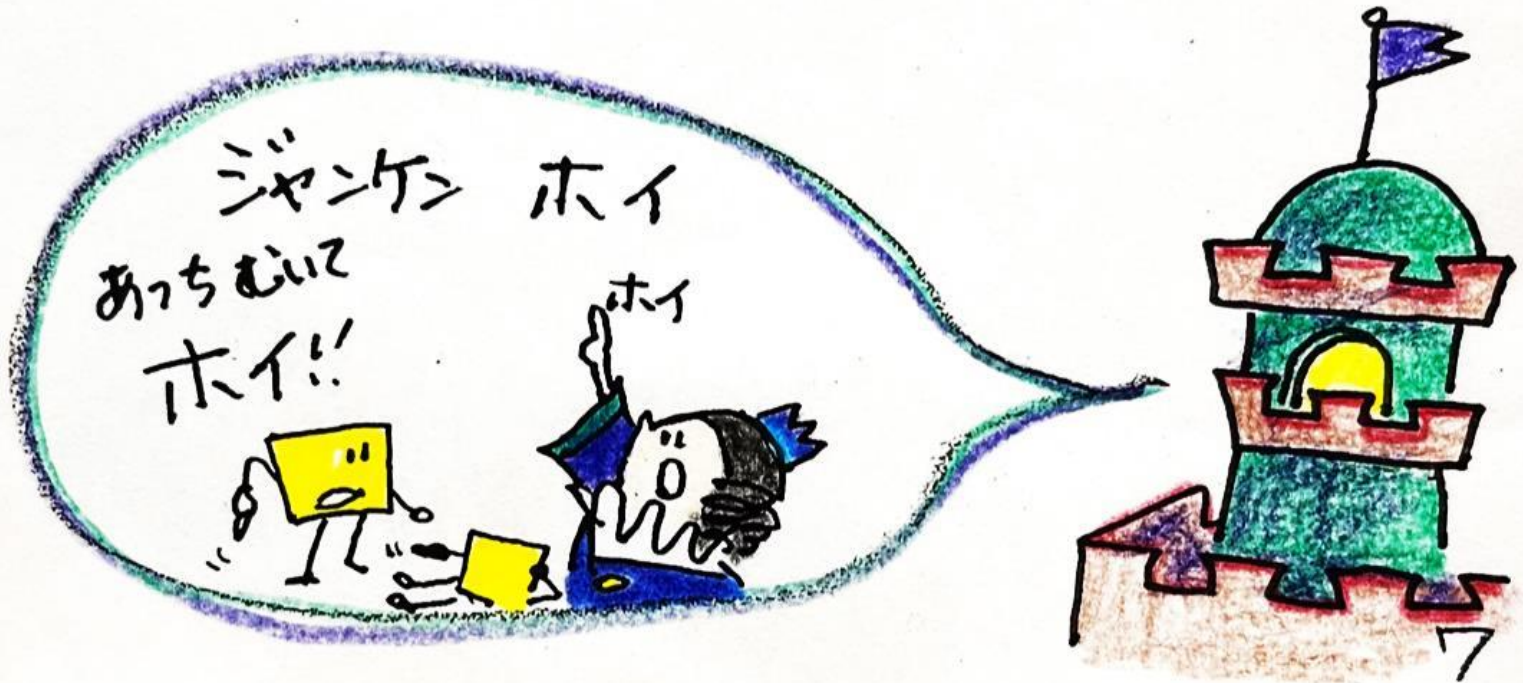
<ごろろん ないてるよ。>

<あーあ、ごろろん かわいそう。>

<くるるんたちも ね。>

⑦

$$7 - 2 = 1$$




① (⑦の裏)



＜青字＞は子どもの反応の例です

この紙芝居は、子どもたちと一緒に、あなたが紡いでいくものです。一緒に絵を見て、子どもたちからお話を引き出していただきます。友だちや先生と一緒に絵を読み解き、自由に発言したり友だちの気づきに共感したりしながら、楽しんでいてほしいと願っています。

ト書きを読んでもらってもいいのですが、読むというよりは、目の前の子どもたちに語りかけるようにやってみてくださいね。

＜あれ、先生。これ前に読んだよね。＞

＜王さまに「2くるるんを さらってまいれ！」っていわれて、カエルたち、

めっちゃ イヤなかお してるよね。＞

＜でもほら ちがうよ！みて、式がちがう。＞

＜え、でもカエルが 2ひきでしょ？＞

＜カエルは2ひきで おんなじだけど、7-2だから ごろろんも いるんじゃないかなあ。＞

＜あ、ほんとだあ。＞